



## 実り多き2学期に

校長 神田 朋恵

学校に、暑さにも負けない子どもたちの元気な声が戻ってきました。2学期も、教職員一同、子どもたちと共に成長したいと思います。子どもたちには、始業式で、次のような話をしました。

### 1、毎日の学習・生活を大切にしよう 2、いろいろなことに、勇気を出して挑戦をしよう

1つ目は、「早寝・早起き・朝ご飯」の生活習慣の上に成り立ちます。2つ目は、よく「やればできる」と言うけれど、これは「やれば成功できる」という意味だけではなく、「やれば成長できる」という意味であること。たとえ失敗しても、必ず成長する。ダメなのは、何もしないこと…と伝えました。これらは、ご家庭の協力なしにはできないことです。ぜひ、1学期に引き続き、子どもたちの健康管理と励ましをお願いします。

さて、1学期に、保護者・地域の代表の皆様との大切な会合が大きく2つありました。1つは**学校運営協議会**、もう1つは、**スクール・サポート・ネットワーク (SSN) 全体会**です。両者とも、4年目を迎えたコミュニティ・スクール推進のために欠かせないものです。

学校運営協議会では、今年度、本校と共に教育活動を強力に推進してくださる方を、改めて委員として選出させていただきました(裏面参照)。協議会では本校のグランドデザイン及び学校自己評価システムシートについてご承認いただきました。これらは学校ホームページに掲載しております。また、『**育みたい子どもの力(姿)**』ということで、『**他者との関わりを大切にする力(思いやりや感謝の心)**』を確認いたしました。

昨年度1月より開始されたSSNでは、第1回全体会にて各団体の活動紹介と共に、学校運営協議会を受けて『育みたい子どもの力(姿)』をそれぞれの立場で、どのように育成していくかを確認いたしました。今のご時世、子どもに話しかけると「不審者に思われる」というお声もありました。しかしながら、どの団体の皆様もめげずに、挨拶を中心にお声を掛けてくださり、近頃では挨拶が返ってくるようになったという嬉しいお声もありました。現在はコロナが第5類になり、マスクが外れ、実際に顔を見て挨拶をすることができるようになっています。私たち学校としましても、引き続き挨拶に力を入れていきたいと考えております。**他者との関わりは、まず「挨拶から」**です。

両者を通じて子どもたちをよりよい方向へ導こうとする皆様の熱い想いに、身が引き締められました。この他、PTAの皆様には適宜会合を開いていただき、感謝しております。

夏休み前半には、『さいたま市子ども会議』があり、市内168校の子ども代表により「心を元気にする4つの言葉」が採択されました(「大丈夫(大丈夫?)」「自分を信じて」「また明日」「ちょっとずつでいいよ」)。夏休み後半には『いじめ防止シンポジウム』が開催され、各校代表の子どもたちが真剣にいじめと向き合い、Resilience(レジリエンス)～最後まで諦めず、続ける力～を学びました。

私たち教職員は子どもたちの「生きる力」を育むため、学校としての役割を果たしてまいります。保護者・地域の皆様、2学期も変わらぬご支援のほど、よろしく願い申し上げます。